

総務委員長報告

(下田利春委員長)

議案1件を原案可決、請願1件を採択

【議案第38号】平成30年度南島原市一般会計補正予算(第1号)

質疑 文書広報費、PR事業としてやっているが、どんなものがあるのか。

答弁 秘書広報課で行っている大きなPR事業としては、シティプロモーション事業として委託している。

質疑 自分達で行っている事業はどんなものがあるのか。

答弁 1例を挙げると、商工観光課で、自分達で素麺を持って行き、現地で実演をしPRをしている。

質疑 総合型シティプロモーションの、これまでの成果はどんなものがあるのか。次年度は何を対象にしているのか。

答弁 平成26年度から、知名度の向上・来客数の増加を事業の大きな目標にやってきたが、現在は

なかなか達成できない状況である。昨年作成のショートフィルムは、観光映像大賞を受賞、他に「撮ってくれんね南島原」の写真コンテストも好評であった。

質疑 飛行機広告は島原ソーマンが表に出すぎて、南島原のPRになっていない。もう少し計画性を持ってやるべきではないか。

答弁 庁内でワーキンググループを立ち上げ、総合型プロモーションに統一性をもつよう議論をしている。

質疑 ドロインを3台購入するようだが。

答弁 本庁舎に1台ずつ配置する。操作研修を実施する。

質疑 地域商社により電気料金が安く買えるというが、いくら安くなるのか。

答弁 九州電力を100としたら、90%位である。

質疑 小さな電力会社に変えて弊害は無いのか。

答弁 電線・電柱、停電時の対応もこれまでと変わらない。

質疑 予算が通ればスタートするのか。

答弁 10月の会社設立に向けて、企業と相談し準備を進める。

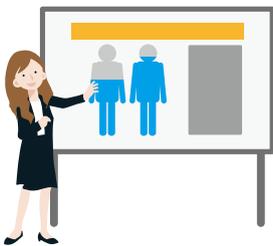
質疑 何で南島原市が出資金50%か。

答弁 経営権の2分の1を持って、安定的な運営を図りたい。

委員長 問題点や意見を、設立協議においては慎重に協議し、より良い地域商社設立になるよう進めていただきたい。

その他の付託案件

【請願第1号】地方財政の充実・強化を求める意見書採択のお願い



文教厚生委員長報告

(田中次廣委員長)

議案5件を原案可決

【議案第34号】南島原市アートビレッジ・シラキノ条例の制定について

質疑 「館長その他必要な職員を置くことができる」となっているが、常時職員がいるのか。

答弁 館長は生涯学習課長で、マネージメントを委託する職員が24時間常駐する。

質疑 毎年の歳入と歳出を、どのくらい見込んでいるのか。

答弁 歳出は、マネージメント委託料と、若手芸術家を招聘するアーティストレジデンス事業と、施設の維持管理費等含めて、大体年間1千万円程度予定している。歳入は、施設の使用料、宿泊室の使用料、大抵で100万円ぐらいを見込んでいる。

【議案第35号】南島原市奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例について

質疑 「著しい心身の障

害が生じたとき」、「その他やむを得ない事由により償還が困難と認められたとき」、奨学資金の全部又は一部の償還を免除することができるとあるが、その判断基準等は。

答弁 医師の診断書等で、修学が困難と分かる資料などで判断する。やむを得ない事由とは、たとえば自己破産などを想定している。

質疑 奨学資金の貸し付け件数と、未納件数はどの位か。

答弁 貸し付け件数は29年度、59名の1,905万円、30年度は53名2,004万円を見込んでいる。

未納件数は29年度末で65名で938万9,730円となっている。

【議案第38号】平成30年度南島原市一般会計補正予算(第1号)
(教育委員会関係)

質疑 北有馬幼稚園は、

何名か、また行革がいわれているが今後の方向性は。

答弁 現在、12名園児がいる。行革推進室と、保育所を管轄している福祉保健部と一緒に、見直しを図っているところである。

(市民生活部関係)

質疑 今回ごみ処理施設の改修に一億数千万円、一般財源で対応することをごどのように考えるのか。

答弁 現在、ごみ処理施設は、焼却施設と溶融施設の二本立てで行っている。今回溶融を廃止することにより、溶融炉の改修費がなくなる。その代わりに灰の処理費がかかるが、差し引き一億円程度の経費節減になる。

その他の付託案件

【議案第36号】南島原市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について

【議案第37号】南島原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について